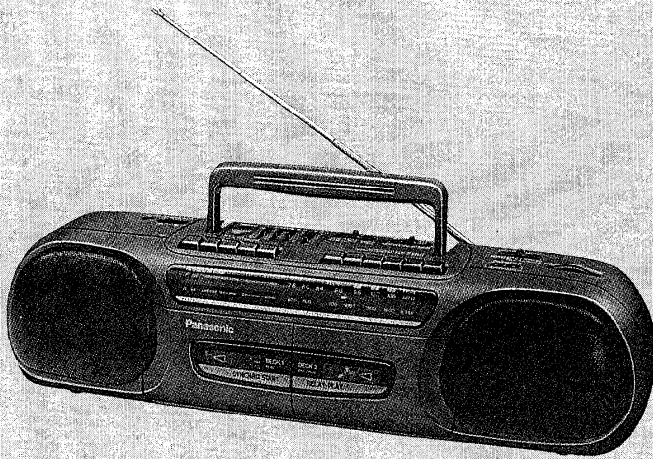
Panasonic

ステレオ ラジオ カセットレコーダー

品番 **RX-FT53**

取扱説明書

AM STEREO

保証書別添

上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック「ステレオ ラジオ カセットレコーダーRX-FT53」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

■取扱説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

もくじ

RQT2312-1S

CONTENTS

必ずお守りください

電源は、AC（交流）100Vで

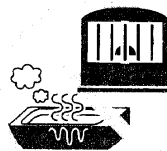
電源コードは正しく取り扱ってください。
取り扱いを誤ると危険です。
- プラグを持つ
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

長期間使用しないときは

思わぬ事故を避けるため、電源コードを本体、コンセント側とも抜いておいてください。

加工・改造・異物の挿入はしない

感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

設置は安定した、風通しのよいところに

故障の原因になりますので、次のような所は、避けてください。
- 湿気の多い所
- 直射日光の当る所など、温度が高い所
- 倉庫などほこりの多い所

水・薬品はかからないように

引火、火災や感電の恐れがあります。

夏の閉め切った車内に放置しない

100℃に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

乾電池の⊕と⊖は正しく入れる

液漏れにより、本機を破損する恐れがあります。

万一、故障が起きたら

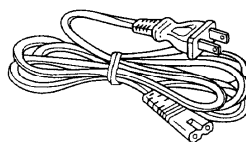
電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合せください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

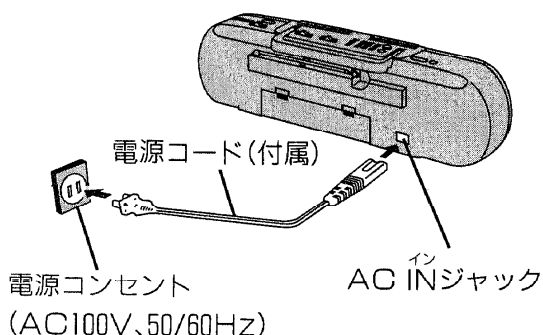
音のエチケット
シンボルマーク

付属品

電源コード……………………………………1

乾電池ケースの中に入っています。

電　源

本機は、家庭用電源（AC）と乾電池（DC）で使える、2電源方式です。

家庭用電源(AC)で

ご参考

節電のために

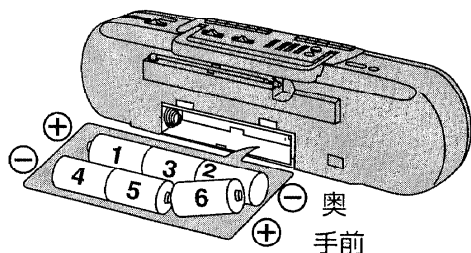
長期間使用しないときは、電源コードは本体、コンセント側とも抜いておいてください。(電源が切れていても、コード接続中は、約1.2Wの電力を消費しています。)

乾電池(別売り)電源で

屋外で使用するときや、屋内でも頻繁に聞く場所を移動するとき、または電源コンセントが遠いところなどでは、乾電池（別売り）の使用が便利です。(本体前面を下にして乾電池を入れるときは、傷がつかないよう、柔らかい布を敷いて行なうことをおすすめします。)

■AC電源←→乾電池電源の切換えかた

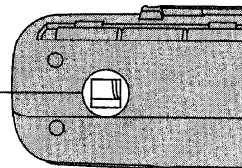
電源コードを本体から抜くと乾電池電源に切換わります。

■乾電池の入れかた

電源コードを本体から抜き、

①乾電池ケースふたを開ける

②乾電池を番号順に入れる
　単1形乾電池（R20PU/LR20）6個（別売り）

③ふたを閉じる

■乾電池の取出しかた

■乾電池の交換時期

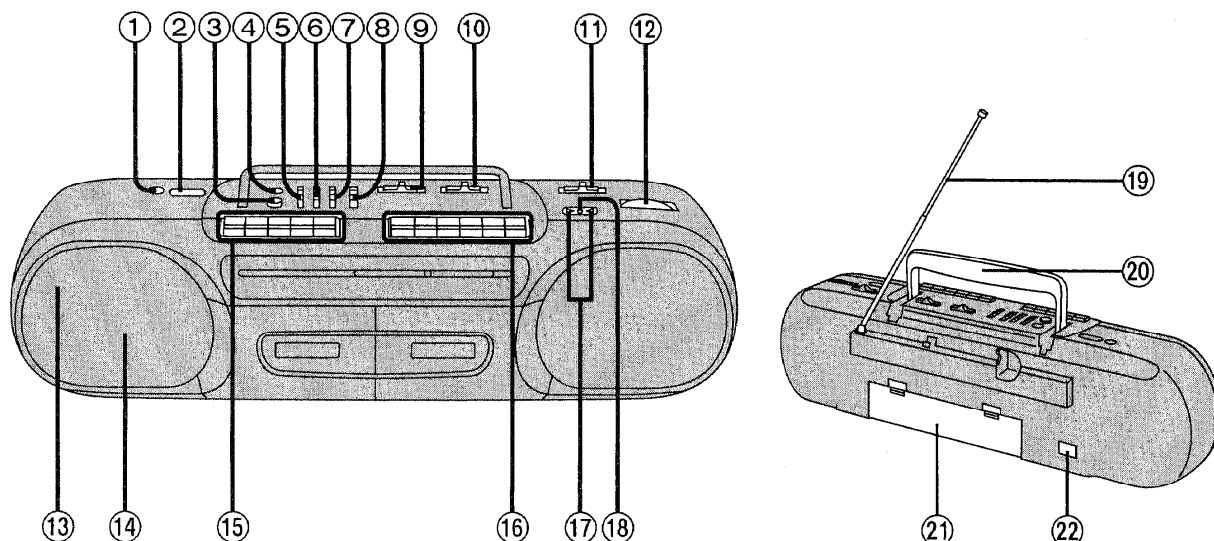
テープ速度が遅くなったり、また音がひずんだり小さくなったときは、全部新しい乾電池に取替えてください。

ご参考

- こまめに電源を切りながら使うほうが、乾電池は長持ちします。
- 大切な録音をするときは、途中で乾電池の消耗によるトラブルを防ぐために、AC電源を使用するか、すべて新しい乾電池と交換しておくことをおすすめします。

■乾電池取扱い上のご注意

- 長期間使用しないときや、いつも家庭用電源で使用するときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 違う種類（マンガンとアルカリなど）の電池を混用しないでください。
- 充電をしないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱などをしないでください。
- 使用しないときは電源を確実に切ってください。

各部のなまえ

①ヘッドホン端子
②ミキシングマイク端子
（ミキシングマイク①②）
③音多カラオケスイッチ
④内蔵マイク
⑤音多バランスつまみ
⑥ミキシングレベルつまみ
⑦音質つまみ
⑧音量つまみ
⑨動作切換つまみ
⑩編集モード/ビートプルーフ切換つまみ
⑪バンド切換つまみ
⑫選局つまみ
⑬ツィーター
⑭ウーハー

⑮ デッキ1（再生のみ）
- 一時停止ボタン（ ❚❚ ）
- 停止/取出しボタン（ ⏏ ）
- 頭出しボタン（◀◀）
- くり返しボタン（▶▶）
- 再生ボタン（◁）

⑯ デッキ2（録音/再生）
- 一時停止ボタン（ ❚❚ ）
- 停止/取出しボタン（ ⏏ ）
- 頭出しボタン（◀◀）
- くり返しボタン（▶▶）
- 再生ボタン（ ◁ ）
- 録音ボタン（ ● ）

⑰AMチューニングインジケーター
⑱FM/AMステレオインジケーター
⑲FM/TV用ホイップアンテナ
⑳ハンドル
㉑乾電池ケースふた
㉒AC INジャック

ラジオ/テレビ(1-3チャンネル)を聞く

放送局を選ぶには

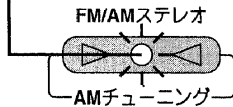
1	切換 テープ/電源切 ラジオ 外部マイク(拡声)	**“ラジオ”を選ぶ**
2	バンド FMステレオ FM AMステレオ AM	**聞きたいバンドを選ぶ** FMステレオ：FMステレオ放送を聞くとき FM：FMステレオ放送で雑音が多いとき(音声はモノラルになります) AMステレオ：AMステレオ放送を聞くとき AM：AMステレオ放送受信時で雑音が多いとき(音声はモノラルになります) ●テレビ音声（1〜3チャンネル）を聞くときは、「FM」に合わせます。 ステレオや音声多重放送は受信できません。
3	選局	**放送局を選ぶ** 周波数が上がる 周波数が下がる
4	音質 高 低 音量 大 小	**音量、音質を調整する** ●音量：大……大きくなる 小……小さくなる ●音質：高……高音が強調される 低……低音が強調される

ご注意

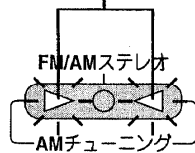
本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。
このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。

放送局を選ぶには(つづき)

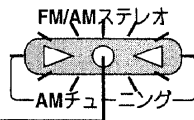
■FM放送を聞く

放送がもっともよく聞こえるように選局する。
ステレオ放送を受信すると、FM/AMステレオインジケーターが点灯します。

FM/AMステレオ
AMチューニング

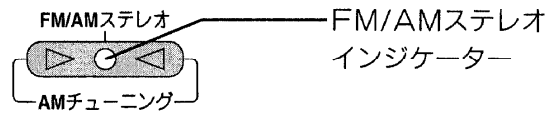
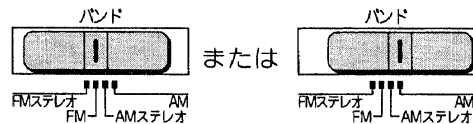
■AM放送を聞く

AMチューニングインジケーターが2つとも点灯するように選局する。

FM/AMステレオ
AMチューニング

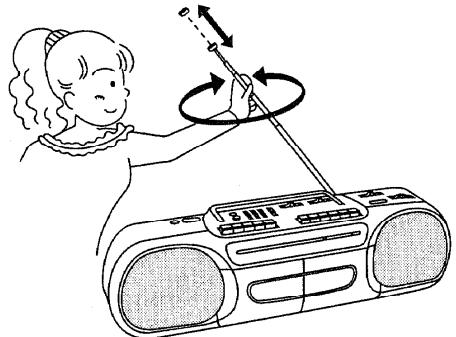
▷だけが点灯しているときは、つまみを右へ少し回します。
◁だけが点灯しているときは、つまみを左へ少し回します。

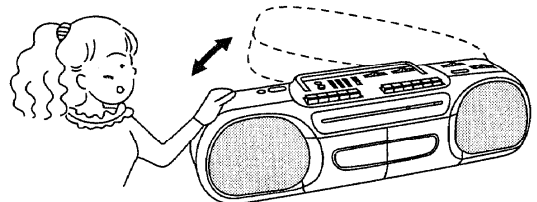
ステレオ放送を受信すると、FM/AMステレオインジケーターが点灯します。

よりよい受信のために(雑音が多いときは)

■FM/AMステレオ モノラルの切換え

(FM/AM放送受信のときでFM/AMステレオインジケーター点灯中)バンド切換つまみでFM/AMを選びFM/AMステレオインジケーターを消します。音声はモノラルになりますが雑音が減り、聞きやすくなります。

●バンド切換つまみを「FM」または「AM」に合わせる

■アンテナの調整

●FM/テレビ放送受信のとき

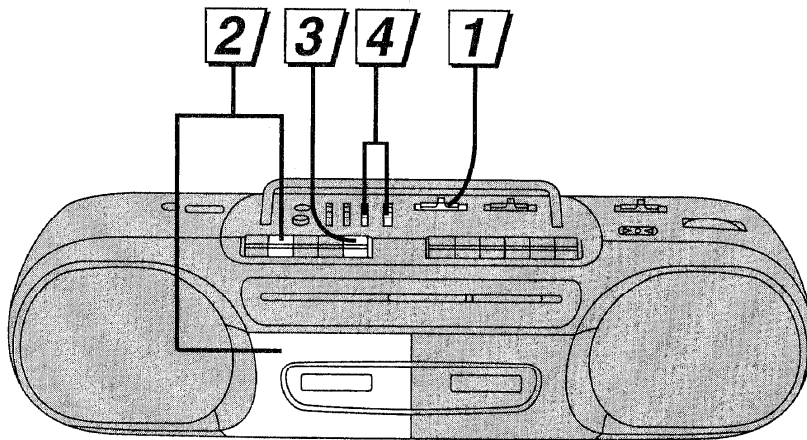
ホイップアンテナの長さと向きを調整します。

●AM放送受信のとき

本機の向きを調整します。

ご参考

乗り物や、建物のなかでは電波が弱まるため、放送が聞こえにくくなることがありますので、できるだけ窓側でお聞きください。

テープを聞く

本機では、ノーマルテープ(TYPEⅠ)のみご使用になれます。
クローム、メタルテープは使用しないでください。

デッキ1、デッキ2、どちらでも再生できます。この操作はデッキ1を使用した場合です。

1	切換 テープ/電源 切 ラジオ 外部マイク(拡声)	**"テープ/電源 切" を選ぶ**
2	⏏停止/取出し	**押して、テープを入れる** テープ面を上に うら面 おもて面
3	◁再生	**押す** 再生が始まります。
4	音質 高 低 音量 大 小	**音量、音質を調整する** ●音量：大……大きくなる 小……小さくなる ●音質：高……高音が強調される 低……低音が強調される

■テープを止めるには

⏏停止/取出し を押す。

■テープを一時止めるには

❚❚一時停止 を押す。

もう一度押すと再び演奏が始まります。

■テープの早送り、巻戻しをするには

停止中に ◀◀/頭出し ▶▶/くり返し を押す。

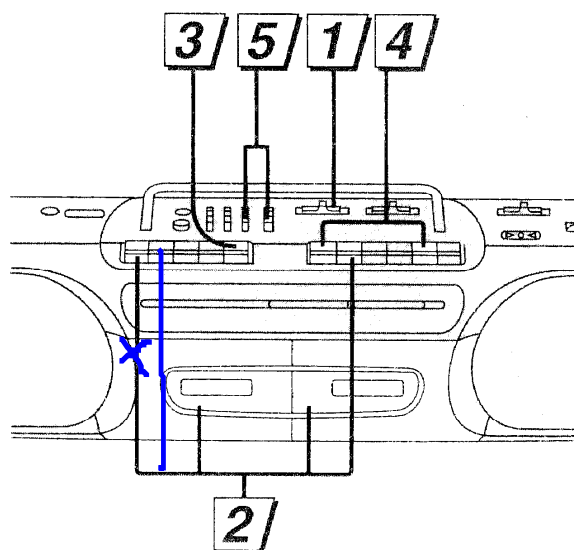
■聞きたいところをさがすには（◀◀/ 頭出し、▶▶/くり返し）

再生中に ◀◀/頭出し ▶▶/くり返し を押し続けます。再生音が途切れたところでボタンから指を離してください。その位置から再生が始まります。

■フルオートストップ機能

テープ走行中、終端になると自動的に停止状態になります。

デッキ1からデッキ2へ連続再生をするには（リレー再生）

デッキ1の片面再生終了後、デッキ2の片面再生を自動的に始めることができます。（テープのおもて、うら面を通して再生することはできません。）

1 "テープ/電源 切" を選ぶ

2 デッキ1、デッキ2にテープをいれる

3 デッキ1の "再生" を押す

デッキ1側の再生が始まります。

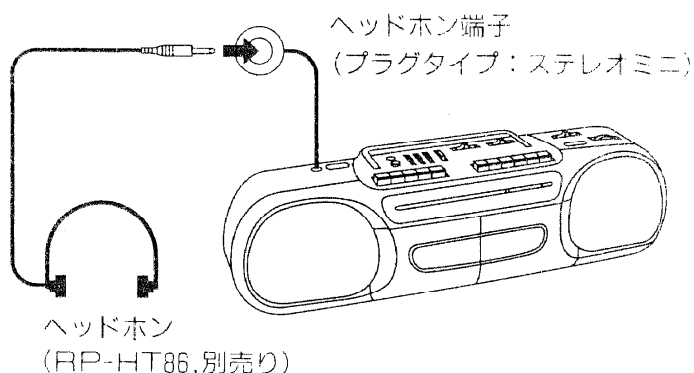
4 デッキ2の "一時停止" を押し、"再生" を押す

デッキ1の再生終了後、デッキ2の再生が始まります。

- リレー再生時は、デッキ1の再生を途中で止めると、自動的にデッキ2の再生が始まります。

5 音量、音質を調整する

- 音量：大……大きくなる
  小……小さくなる
- 音質：高……高音が強調される
  低……低音が強調される

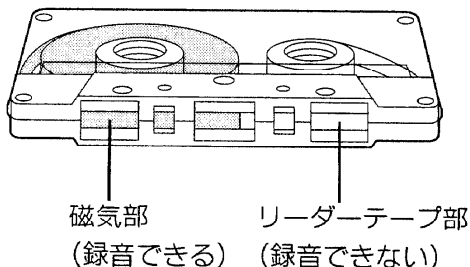
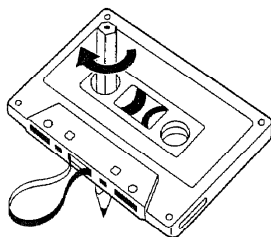
ヘッドホンで聞く

耳を刺激するような大きな音量で、長時間お聞きになることは避けてください。

録音をする前に

録音できるテープについて

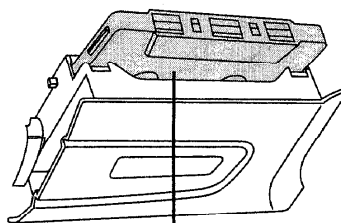
本機では、ノーマルテープ（TYPEI）のみご使用になれます。クローム、メタルテープは使用しないでください。

リーダーテープについて

テープの両端にある、録音できない部分のことです。リーダーテープを巻取らずに録音を始めると、曲の頭が切れることがあります。

●リーダーテープを巻取るには

録音レベルについて

本機では、録音レベルを自動的に設定しますので、調整の必要はありません。

テープの録音面について

録音ができるのはおもて面のみです。

録音を消去するには

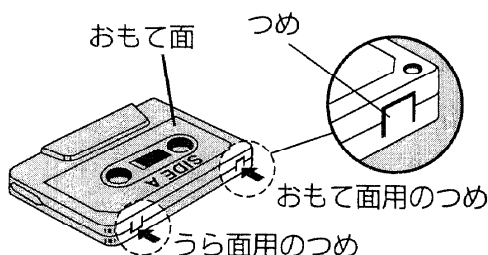
新しく録音をすると前の録音は自動的に消去されます。

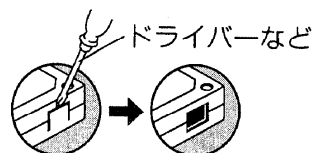
テープについて

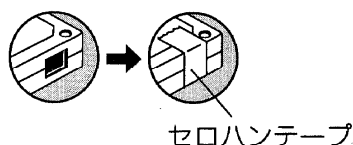
■90分を超えるテープについて

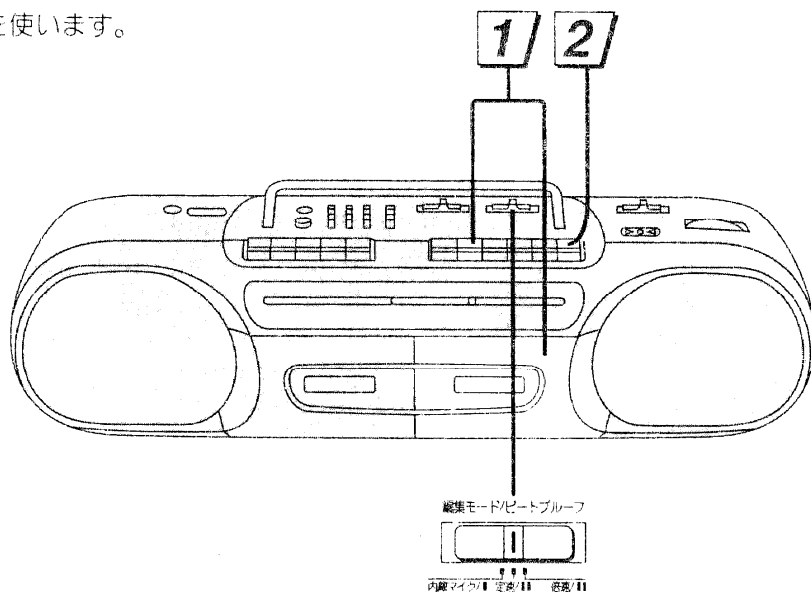
長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻込まれることがありますので、ご注意ください。

■録音消去防止用のつめについて

おもて面（A面）とうら面（B面）の誤消去を防ぐためのつめがついています。

●誤消去を防ぐには

ドライバーなどで
つめを折る。

●再び録音するには

セロハンテープを
貼って穴をふさぐ。

ラジオ/テレビ(1-3チャンネル)を録音する

録音は、デッキ2を使います。

ビートプルーフ切換つまみ

■放送局を選んでから、(☞5ページ)		
1	⏏停止/取出し	**押して、テープを入れる** ●テープに誤消去防止用のつめはついてますか? ●リーダーテープ部分はあらかじめ巻取っておきます。
2	●録音	**押す** 再生ボタンも同時に押込まれ、録音が始まります。 **録音は常に正転方向(おもて面)の片面録音です。**

■録音を止めるには

□を押す。

■録音を一時止めるには

□を押す。もう一度押すと再び録音が始まります。

●録音中に音量や音質を変えても、録音には影響ありません。

■AM放送を録音中雑音が多いときは

ビートプルーフ切換つまみを、雑音(ピーピーという音)の少ないほう(Ⅰ または Ⅱ)に切換えます。

■モニターのしかた

モニターとは、録音している音を同時にスピーカーやヘッドホンで聞くことです。

内蔵マイクで録音する

デッキ2にカセットを入れ、番号順に操作してください。

1 動作切換えつまみを“テープ/電源切”にする

2 編集モード切換つまみを“内蔵マイク”にする

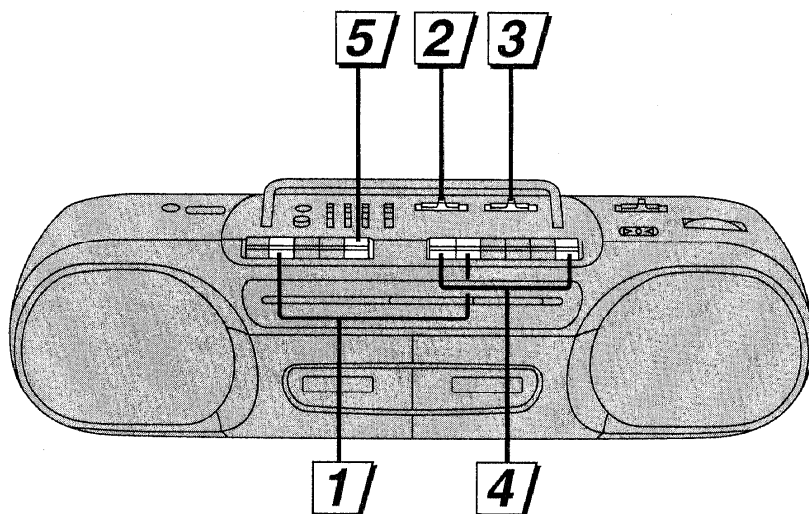
3 “録音”を押す

ご注意

●内蔵マイクからの録音中は、デッキ1の再生ボタンを押さないでください。デッキ1の再生音も同時に録音されます。

●内蔵マイクから録音する場合は、ハウリングを防ぐため、モニターはできません。

テープからテープへ録音する

デッキ1からデッキ2に、ワンタッチで編集録音できます。

1	⏏停止/取出し	**押して、テープを入れる** デッキ1：再生用テープ デッキ2：録音用テープ （リーダーテープ部分は巻取っておきます。）
2	切換 テープ/電源切　ラジオ　外部マイク（拡声）	**“テープ/電源切” を選ぶ**
3	編集モード/ビートプルーフ 内蔵マイク/Ⅰ　定速/Ⅱ　倍速/Ⅲ	**編集速度を選ぶ** 定　速：音を聞きながら編集録音をするとき （通常の速度） 倍　速：早く編集録音したいとき （通常の約1.7倍の速度）
4	デッキ2　❚❚一時停止 ➡ ●録音	**押して、録音待機状態** ●録音待機状態になります。
5	デッキ1　◁再生	**押して、編集録音開始** ●テープ編集が始まります。（シンクロスタート）

■**編集録音を止めるには**

それぞれの、⏏停止/取出し を押します。

ご注意

●テープ編集中、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響でノイズ（雑音）が録音されることがあります。本機とテレビの距離を約1.5m程度離してご使用ください。

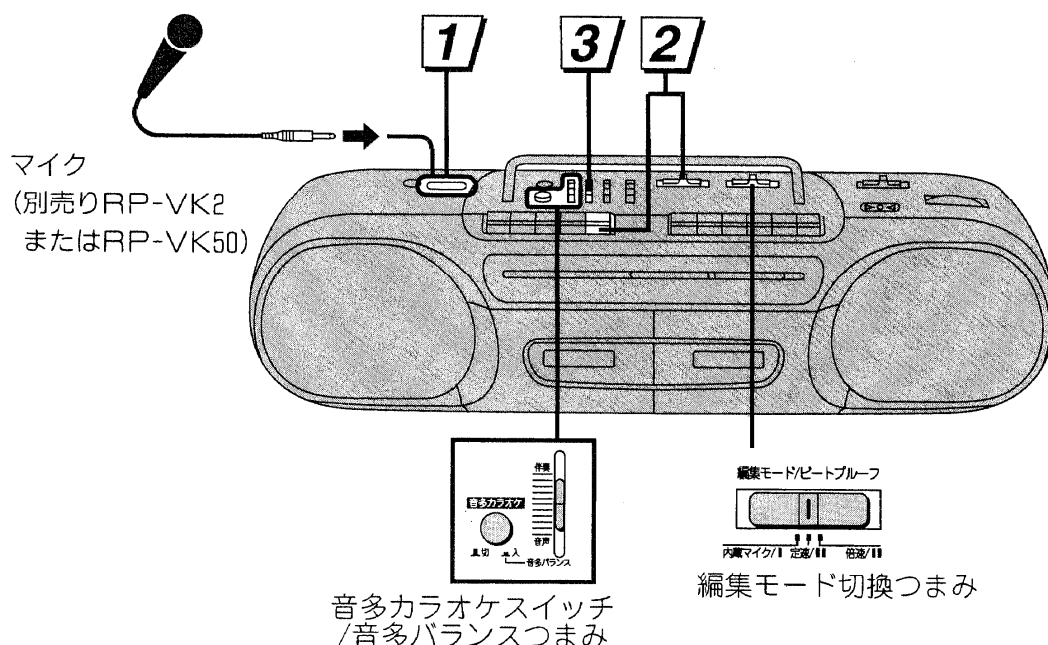
ご注意

●テープ編集中に編集モード切換つまみで速度を変えないでください。

●長時間編集するときは、途中で消耗するおそれのある乾電池より、家庭用電源をご使用ください。

カラオケを楽しむ

音多カラオケスイッチ
/音多バランスつまみ

編集モード切換つまみ

本機は、マイクを接続してカラオケを楽しむことができます。
デュエットの時は、マイクを2本、ミキシングマイクジャック①、②に接続してください。

1	**マイクを接続する**
2	**“テープ/電源切” を選び、“再生” を押す**
3	**マイクの音量を調整する** マイクの音声は、両方のスピーカーから聞こえます。

音声多重カラオケテープを使用のときは

1 音多カラオケスイッチを “▬ 入” にする

2 音多バランスつまみを調整する

- 伴奏を強調したいときは、つまみを “伴奏” 側へ調整します。
- 音声を強調したいときは、つまみを “音声” 側へ調整します。

解除するには、“■ 切” にしてください。

ご注意

- 音多カラオケスイッチは、ラジオ/TV受信時には働きません。
- マイクの音量を上げすぎるとハウリング（ピーという音）が起こりますので、マイクの音量を下げるか、マイクをスピーカーから離してご使用ください。

カラオケを録音する

1 テープを入れる
デッキ1：再生用（カラオケ）テープ
デッキ2：録音用テープ

2 動作切換つまみを“テープ/電源切”にする

3 マイク(別売り)を接続する

4 編集モード切換つまみを“定速”にする

5 デッキ2の“一時停止”を押して、“録音”を押す
●録音待機状態になります。

6 デッキ1の“再生”を押す
●演奏/録音が始まります。

7 音量、音質を調整する

音声多重のカラオケテープを使用するときは、録音前に音多バランスつまみを好みの位置に調整してください。

マイクを使って楽しむ

マイクから録音する

1 デッキ2に録音用テープを入れる

2 動作切換つまみを“テープ/電源切”にする

3 マイク(別売り)を接続する

4 編集モード切換つまみを“定速”にする

5 “録音”を押す

6 ミキシングレベルでマイクの音量を調整する

外部マイク(拡声)を使う

自分の声を大きくして、遠く離れたところへ自分の声を伝えるときに便利です。

1 動作切換つまみを“外部マイク(拡声)”にする

2 音量、音質を調整する

ご注意

●ミキシングマイクを接続すると、内蔵マイクは働きません。
●マイクを使わないときは、マイクをミキシングマイクジャックから抜いてください。

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記載を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間です。

修理を依頼されるとき

15ページの「故障かな!?」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。（下記のサービス伝言カードをご利用ください。）

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

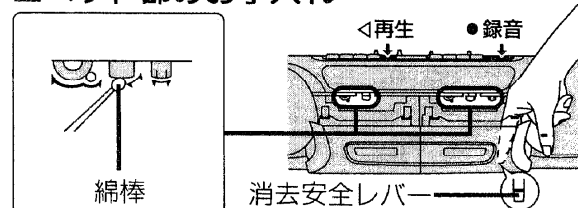
補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にお問合せください。

お手入れについて

■ヘッド部のお手入れ

音質の劣化を防ぐため、約10時間使うごとに清掃することをおすすめします。

1. ［停止/取出し］を押してカセットホルダーを開ける。
2. デッキ1は［◁再生］を押して、デッキ2は消去安全レバーを押さえながら［●録音］を押す。（ヘッド部があらわれます。）
3. 綿棒か、ヘッドクリーニングキット（RP−919、別売り）で清掃する。綿棒で、テープが当たる面を清掃します。

ご注意

- 注油は絶対にしないでください。故障の原因になります。

■キャビネットのお手入れ

- 柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは水か石けん水を含ませた布で拭き、後は空拭きをしてください。
- 化学ぞうきんをお使いのときは、その説明に従ってください。
- ベンジン、シンナー、殺虫剤、アルコールなどは使用しないでください。

（切り取ってご利用ください）

〈サービス伝言カード〉

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入の上、お買い上げの販売店にお持ちください。

(ふりがな) お名前				…故障または異常の内容… （この様な場所で、……していた時、こんな故障になった）
ご住所 ご連絡先	電話（　　）　−			
商品名	ステレオラジオ カセットレコーダー	品番	RX-FT53	
ご購入日		ご依頼日		※私の希望修理代金は＿＿＿＿円迄です

故障かな!?

修理を依頼される前にもう一度次の表でご確認ください。それでもなお異常のときは、「アフターサービスについて」(☞14ページ) の内容にしたがって、お買い上げの販売店へご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
ラジオ/テレビの音が聞こえない **テープが走行しない**	●乾電池（単1形）が正しく入っていますか? ●乾電池が消耗していませんか? ●電源を乾電池に切換えたとき、電源コードが本体に差し込まれたままになっていませんか? ●テープは正しく入っていますか?
早送り/巻戻しが遅い	●乾電池が消耗していませんか? ●カセットテープの回転が重くありませんか? (鉛筆などをテープの回転穴に挿入し、手で回してみて回転の重いテープは使用しない。)
テープが取出せない	●新しい乾電池に取換えるか、家庭用電源に切換えた後、もう一度操作してください。
再生音が小さい、録音・再生音が割れる。高音が出ない	●乾電池が消耗していませんか? ●ヘッド部が汚れていませんか?
録音ができない	●テープに誤消去防止用のつめはついていますか?

●本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、お互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。
●本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。
これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。

著作権について

●放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
●従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
●使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC) の本部または最寄りの支部におたずねください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

日本音楽著作権協会

本　部☎(03)3502-6551
北海道支部☎(011)221-5088
盛岡支部☎(0196)52-3201
仙台支部☎(022)264-2266
大宮支部☎(048)643-5461
東京支部☎(03)3562-4455
西東京支部☎(03)3232-8301
横浜支部☎(045)662-6551
静岡支部☎(054)254-2621
中部支部☎(052)586-1155
北陸支部☎(0762)21-3602
京都支部☎(075)251-0134
大阪支部☎ (06)244-0351
神戸支部☎(078)322-0561
中国支部☎(082)249-6362
四国支部☎(0878)21-9191
九州支部☎(092)441-2285
鹿児島支部☎(0992)24-6211
那覇出張所☎(098)863-1228

主な仕様

ラジオ部

受信周波数：FM：76.0－108.0MHz
AM：525－1605kHz

テープレコーダー部

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：マグネット消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲：ノーマルテープ：70－12000Hz
(EIAJ)

共通部

スピーカー：ウーハー：10cm丸形2.7Ω×2個
ツィーター：1.5cm×2個
入力端子：ミキシングマイク：5mV、適合マイクインピーダンス200～600Ω
出力端子：ヘッドホン：32Ω
実用最大出力(DC時)：2.5W＋2.5W(EIAJ)
電池持続時間：約25時間(EIAJ録音時)
約16時間(EIAJ音楽再生時、Vol.8程度)
(別売りナショナル乾電池ネオ〈黒〉R20PU使用時)
電源：AC100V、50/60Hz
(付属電源コード使用)
乾電池：DC9V(単1形乾電池6個)
消費電力：AC12W
最大外形寸法：566(W)×146(H)×160(D)mm
(EIAJ)
重量：約2.8kg(乾電池なし)
約3.3kg(乾電池を含む)

動作切換つまみ"テープ/電源 切 "時の
消費電力 …………………… 約1.2W(ACのとき)

□この定格は性能向上のため、変更することがあります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎(　　)　－	お買い上げ日	年　月　日
お近くの当社ご相談センター	☎(　　)　－	品番	RX-FT53

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号　☎(06)909-1021

RQT2312-1S
F0494R0